

鈴鹿市斎苑関係業務委託事業者選定プロポーザル（企画提案書）に係る質問への回答

<回答についての注釈>

1 回答欄において、下表左欄の文書名を右欄のとおり表記しています。

正式名称	質問内容及び回答欄での表記
鈴鹿市斎苑関係業務委託事業者選定プロポーザル実施要領	実施要領
別紙2 鈴鹿市斎苑関係業務委託仕様書	仕様書

2 質問内容は、基本的には原文のままの記載としていますが、明らかな誤字脱字等の軽微な修正は行っております。

<回答>

No.	文書名	ページ	該当箇所	質問内容	回答
1	仕様書	3	3 業務内容 (1)火葬業務 ①専任従事者の配置について	従事者数を調整する際の具体的な判断基準（例：1 日の火葬件数、同時進行数、時間帯）をご教示ください。 また、従事者数の変更について、協議のタイミングや手続きの流れについても併せてお示しください。	調整可能の判断基準として、当日の予約件数が、4 件に満たない場合を想定しています。
2	仕様書	5	3 業務内容 (3)霊柩車運行業務	過去 3 ヶ年における霊柩車両の年間走行距離、使用ガソリン量および燃料費について、年度ごとにお示しください。	過去 3 年間ににおける霊柩車に係る以下の数値をお示しします。 なお、霊柩車は現在 2 台使用していますので、以下の数値は合計値となります。 年間走行距離 使用ガソリン量 燃料費 R6：11,430km 1,590L 408,810 円 R5：11,862km 1,600L 368,010 円 R4：11,100km 1,500L 373,687 円
3	仕様書	6	3 業務内容 (1)火葬業務	鈴鹿市斎苑では、30 分毎に火葬予約時間が設定されているため、霊柩車の到着状況によっては複数件	基本的に 1 件ずつ受入を行い、重複時は待機とする運用としています。

			⑤～⑧受入業務について	<p>が同時に到着する可能性がございます。</p> <p>以前は告別室の左右に分かれて同時に受入を行っていたと認識しておりますが、近年は同時受入を行わず、1 件目が終わるまで 2 件目が表で待機する運用が見受けられる状況です。</p> <p>つきましては、今後の受入業務における運用方針として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・告別室を用いた同時受入を原則とする ・基本的に 1 件ずつ受入を行い、重複時は待機とする <p>上記いずれを基本運用とされているか、ご教示いただけますでしょうか。</p>	
4	実施要領		提案書式（様式 6 ～ 9）について	<p>提案書式の枠内上部に記載されている「以下の内容について記載してください。」及び、ページ下部枠外に記載されている「※片面印刷、A4 用紙 4 枚以内（カラー可）、Word、PPT 等形式問わず。」といった案内文につきまして、記載スペース確保のため、これらの文言を削除しても問題ございませんでしょうか。</p>	削除して問題ございません。
5	その他		許可証などの管理について	<p>受託者が埋火葬許可証を利用者へ返却するものと認識しております。</p> <p>一方で、埋火葬許可証への日時記入、許可証控えの保管、施設使用許可書、予約台帳等の個人情報を含む書類管理については、貴市職員が実施する運用と理解しておりますが、この認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、埋火葬許可証の利用者への返却は、受託者において行うものです。</p> <p>ただし、許可証への記入や控え等の書類の保管等については、本市において行うものという認識で差支えありません。</p>
6	仕様書	2	1 委託業務 (6)その他	<p>仕様書 2 ページ⑬「上記（１）～（５）委託業務全体の統括責任者を 1 名専任すること。」とありま</p>	<p>現場責任者と兼務で行うことは可能です。</p> <p>また、統括責任者が鈴鹿市斎苑に勤務（常駐）</p>

			⑬統括責任者について	すが、統括責任者は鈴鹿市斎苑に勤務する必要がないという認識でよろしいでしょうか。 また、現場責任者が統括責任者を兼務することは可能でしょうか。	する必要はございませんが、連絡が取れる状態であることが必要です。												
7	その他		火葬に係る使用燃料量について	火葬 1 件当たりの使用燃料量について、過去 3 ケ年分を年度別にご教示いただけますでしょうか。	火葬一件当たりの使用燃料量については、設置しているバーナー（火葬炉、再燃炉）のメーカーカタログ値では合計 80～15L/h となっています（竣工当時）。 ただし、火葬に当たっては、特に火葬炉において炉内温度の調整のため、燃焼と余熱を繰り返しており、正確な燃費は計算できません。 また、現在に至るまでの 40 年間で、炉の大規模改修等を経ておりますので、現時点の正確な数値は把握できないのが現状です。 なお、過去 3 年間における以下の実績値をお示しします。 【年間給油量と火葬件数について】 <table><tr><td>給油量(A)</td><td>火葬件数(B)</td><td>(A)/(B)</td></tr><tr><td>R6：85,000L</td><td>2,306 件</td><td>36.8L/件</td></tr><tr><td>R5：81,000L</td><td>2,166 件</td><td>37.3L/件</td></tr><tr><td>R4：93,000L</td><td>2,259 件</td><td>41.1L/件</td></tr></table>	給油量(A)	火葬件数(B)	(A)/(B)	R6：85,000L	2,306 件	36.8L/件	R5：81,000L	2,166 件	37.3L/件	R4：93,000L	2,259 件	41.1L/件
給油量(A)	火葬件数(B)	(A)/(B)															
R6：85,000L	2,306 件	36.8L/件															
R5：81,000L	2,166 件	37.3L/件															
R4：93,000L	2,259 件	41.1L/件															
8	その他		1 件当たりの火葬業務時間について	受入・火葬・冷却・収骨に要するおおよその時間について、現在の概ねの時間をご教示ください。 （例：受入〇〇分、火葬〇〇分、冷却〇〇分、収骨〇〇分）	一般的なケースにおいて火葬業務に係る 1 基当たりの時間配分は以下のとおりです。 受入：15 分 火葬：60 分 冷却：10 分 収骨：15 分 清掃：15 分 計 115 分/体												

9	仕様書	5	3 業務内容 (2)清掃業務 ③ゴミの処理について	<p>ごみは週 1 回以上の搬出が必要と認識しておりますが、搬出日までの間、一時保管場所は屋根や囲い等の設備が施され、動物による荒らしや雨天時の散乱等を防ぐ構造となっているのでしょうか。</p> <p>併せて、現状の保管場所の位置や設備内容についてご教示ください。</p>	<p>ごみの一時保管場所は施設の北面に位置しており、専用のボックス（フタ無）に入れ、ブルーシートを被せて保管しています。動物による被害等はございません。</p>
10	仕様書	2	1 委託業務 (6)その他 ⑬統括責任者について	<p>今回新設された統括責任者の役職についてですが、斎苑に常駐する従事者ではなく、業務に直接関与しない本部担当者が統括責任者となる形でも問題ないでしょうか。もし、業務に関わる従事者の中から選任する必要がある場合は、火葬業務の現場責任者との兼任は可能でしょうか。</p>	<p>質問 6 の回答に同じ。</p>